

第2回 櫛田川自然再生検討会 議事要旨

日時：平成23年12月19日（月） 13:00～15:00

場所：三重県水産会館

1. 開 会

2. 挨拶（三重河川国道事務所長）

3. 議 題

(1) 第1回櫛田川自然再生検討会 議事要旨について（資料-1(1), (2)）

第1回櫛田川自然再生検討会議事要旨について説明した。

(2) かつての櫛田川における人と川との関わりについて（資料-2）

かつての櫛田川における人と川との関わりについて説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・「かつての櫛田川を語る会」では、上流から土砂が流れず河床が下がったという意見と下流では河床が上がってきたという意見があった。河床に関わる問題の解消は、難しいと感じた。
- ・櫛田川の自然環境は国や県がやるべき事業であるが、漁業協同組合が国、県にかわって川の環境の維持をしている。国土交通省にも昔の本当の櫛田川に戻す努力をお願いしたい。
- ・土砂に関連する課題の解決は、水系一貫の総合土砂管理まで進んでいかないと難しいと感じた。

(3) 櫛田川自然再生の目標（案）について（資料-3）

櫛田川自然再生の目標（案）を説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・昔の櫛田川はアユやサツキマスがたくさんいたが、今は資源量が減っている、という説明を聞いた。その原因としては、宮川と比較して櫛田川に堰が多いことと人口が多いことによる生活排水の影響などが考えられる。
- ・たくさんのアユが棲める川を目指す場合は、これまでに減少した原因をはっきりさせることが大切と思う。アユ産卵場所が今1箇所しかないという説明があったことから、櫛田川には産卵場を改善していく必要があると思う。
- ・櫛田川には、きれいな水に、魚類が上下流を行き来でき、いろいろな魚類が生息する昔の環境をつくってほしい。それによって、人々が川遊びなど川と関わりのある生活をしていきたいと願っている。

(4) 櫛田川自然再生の整備メニュー（案）について（資料-4）

櫛田川自然再生の整備メニュー（案）について説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・瀬淵環境は、保全から踏み出して積極的に再生・復元といった方向性で考えられないか。上流から下流に至るまでの土砂管理は、最終的に瀬淵環境の課題に行き着くと思う。
- ・蓮ダムの下流では、台風（出水）時に土砂を流し河床を洗う取り組みが行われているが、その程度では土砂が中流域にまで流れることはないと思う。また、下流域のヘドロ状の土砂を取り

除かないといけないのかどうかを考えていただきたい。

- ・シルト粘土質の河床を中小洪水でフラッシュさせる対応は、蓮ダムでの運用（弾力的な運用）で考えていく課題だと思う。
- ・櫛田川は、川の水質が一番の問題だと思う。蓮ダムの浚渫などによって、ここ4~5年は川の水はほとんどきれいにならないと思っているので、事務局は蓮ダム等と協力して行っていただきたいと考えている。
- ・上流部では、今年の台風の影響で山崩れが発生した。この崩壊による濁りの発生に関しては、河川管理者だけでなく、治山を行っている方とも検討すべき課題である。
- ・櫛田可動堰より下流3つの堰を無くし統廃合することで、水利の一元管理、連続性の確保、ヘドロの問題もクリアできるため、抜本的に櫛田川的环境は再生されると思う。東黒部頭首工の取水量は約0.3m³/sとわずかなので、段階的な対応として、まずこの頭首工の統廃合を整理できないかと思う。

(5) モニタリング・地域連携（案）についてについて（資料-5）

モニタリング・地域連携（案）について説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・地域との連携は、地域の方々と一緒になった調査、イベント等、できることから行うのが良い。このような取り組みを積み重ねることで、川に対する関心は高まってくると思う。
- ・櫛田川では、下流域の人が上流の森を育て水を守るという活動をしている。上下流の交流などを通じたモニタリングはできると思う。
- ・祓川では、4つの小学校が地元の協議会と連携して水生生物調査を行い、2年に1回「祓川シンポジウム」での発表を行っている。事務局としては、このような活動を櫛田川全域に広げる企画のつなぎ役、きっかけづくりをやられると良いと思う。
- ・地域連携では、情報を共有できるような仕組み（ネットワーク）をつくって発信することが大事である。
- ・地域住民の川離れの要因は、川が昔に比べて汚れ、親から川は危ないから近寄るなど言われ、コンクリート護岸やフェンスによって川に近寄れない構造となっていることと思う。これが根本的な問題である。
- ・地域との川づくりについては、三重県立博物館としても積極的に応援していきたい。連携できることがあればお願いしたい。

(6) 今後の予定（資料-6）

今後の開催予定について説明を行った。

5. 閉 会

以 上